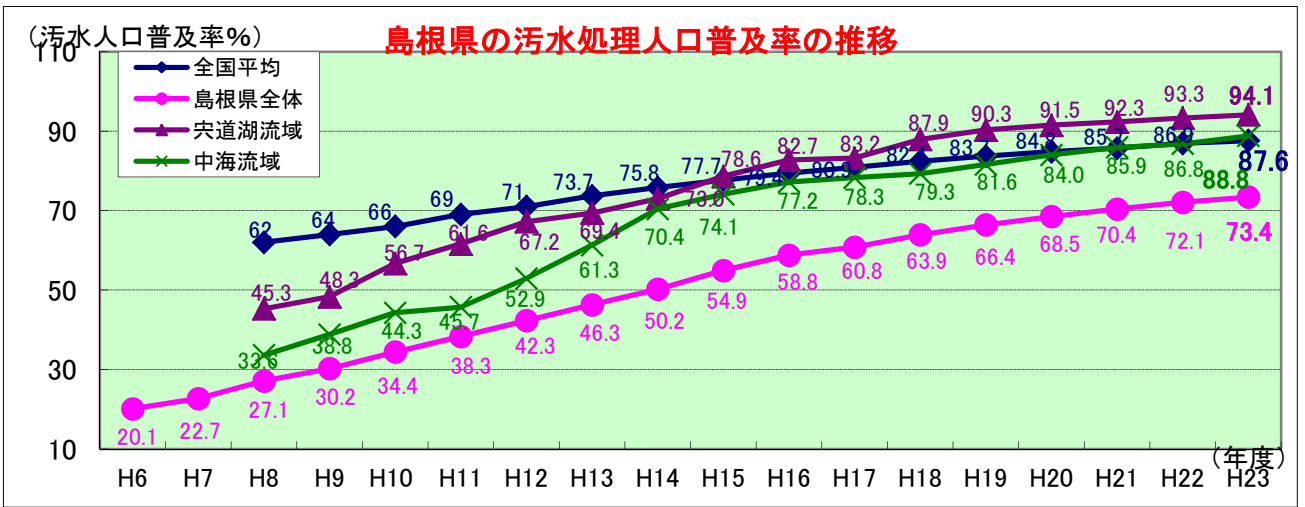
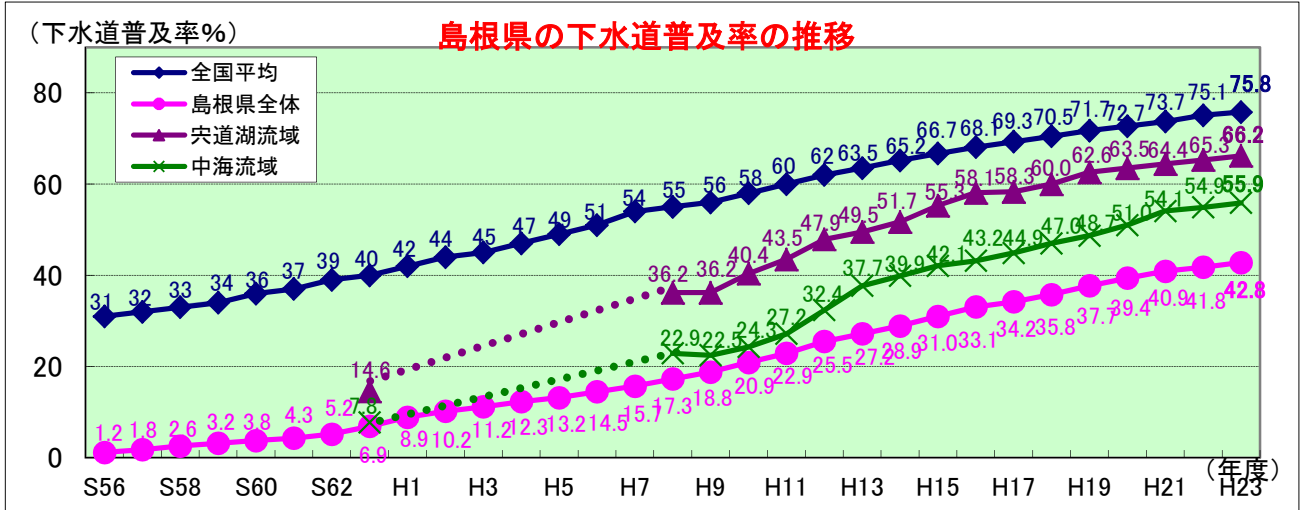


# 島根県の下水道の整備効果(平成23年度末)

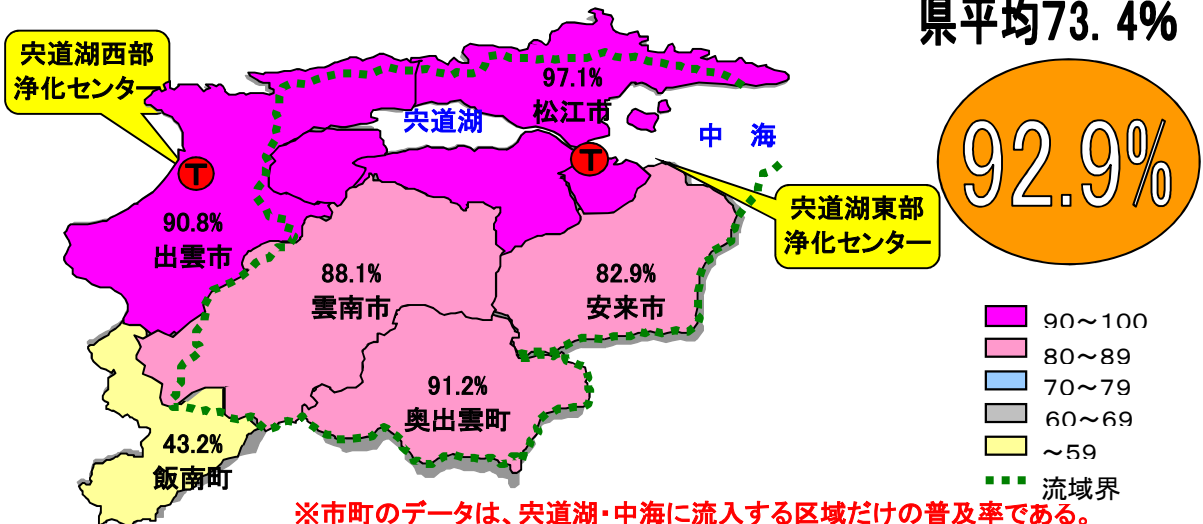
## ○下水道普及率

県全体の下水道普及率は、平成23年度末で42.8%となり、全国平均75.8%を大きく下回っています。また、県全体の汚水処理人口普及率は73.4%となり、全国平均87.6%に比べ遅れていますが、宍道湖・中海流域全体の普及率は92.9%と全国平均を上回っています。

本県では、平成23年2月に「島根県生活排水処理ビジョン(第4次構想)」を策定し、平成30年度には、全県で概ね8割の人々が汚水処理施設を利用できるように普及を進めていきます。



## 宍道湖・中海流域市町汚水処理人口普及率(平成23年度末)



※市町のデータは、宍道湖・中海に流入する区域だけの普及率である。

## ○下水道整備による水質改善効果事例(松江堀川)

松江堀川は、宍道湖とともに「水の都松江」のシンボルとして、松江市民や観光客に潤いを与えてきました。しかし、昭和30年代の高度成長期の頃より、家庭雑排水等の都市排水が増加し、水質が急速に悪化してきました。最も水質汚濁が著しかった時期は昭和40年代で、夏季には底泥からメタンガスや硫化水素が発生し、酸欠のためフナが斃死することもありました。このため、昭和47年から公共下水道や水質浄化対策に着手しました。

松江堀川沿川は、史跡松江城や武家屋敷等の観光の中心地であり、松江市の伝統美観保存地区にも指定され、市民や観光客の憩いの場となっています。

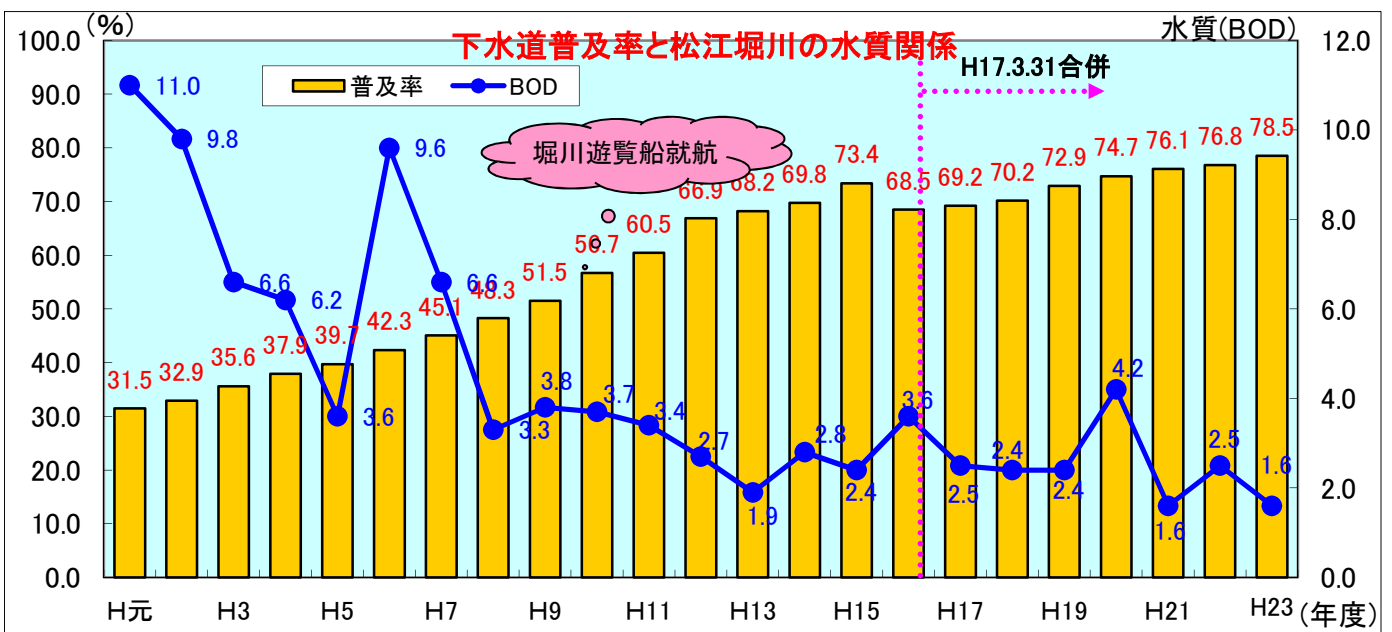
現在では、公共下水道や水質浄化対策により水質も改善され、平成9年からは松江堀川をめぐる堀川遊覧船が就航し、平成23年の利用者数は約28万人となっています。



**【昭和40年代の松江堀川】**  
生活雑排水の流入により堀川の水質が急速に悪化し、堀川流域の一部では、大きく景観が損なわれていました。



**【現在の松江堀川】**  
平成9年に堀川を巡る遊覧船の就航により、松江堀川は四季折々の美しさで観光客を楽しませています。



※下水道普及率は松江市全域の数値

※平成16年度末普及率からは、合併後の行政区の数値

## ○下水道の整備による水質改善効果

市町村名 松江市  
河川名 松江堀川  
概要

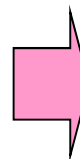
松江堀川は、宍道湖とともに「水の都松江」のシンボルとして、松江市民や観光客に潤いを与えてきました。しかし、昭和30年代の高度成長期の頃より、家庭雑排水等の都市排水が増加し、水質が急速に悪化してきました。最も水質汚濁が著しかった時期は昭和40年代で、夏季には底泥からメタンガスや硫化水素が発生し、酸欠のためフナが斃死することもありました。このため、昭和47年度から公共下水道や水質浄化事業に着手しました。

松江堀川沿川は、史跡松江城や武家屋敷等の松江観光の中心地であり、沿川は松江市の伝統美観保存地区にも指定され、市民や観光客の憩いの場となっています。

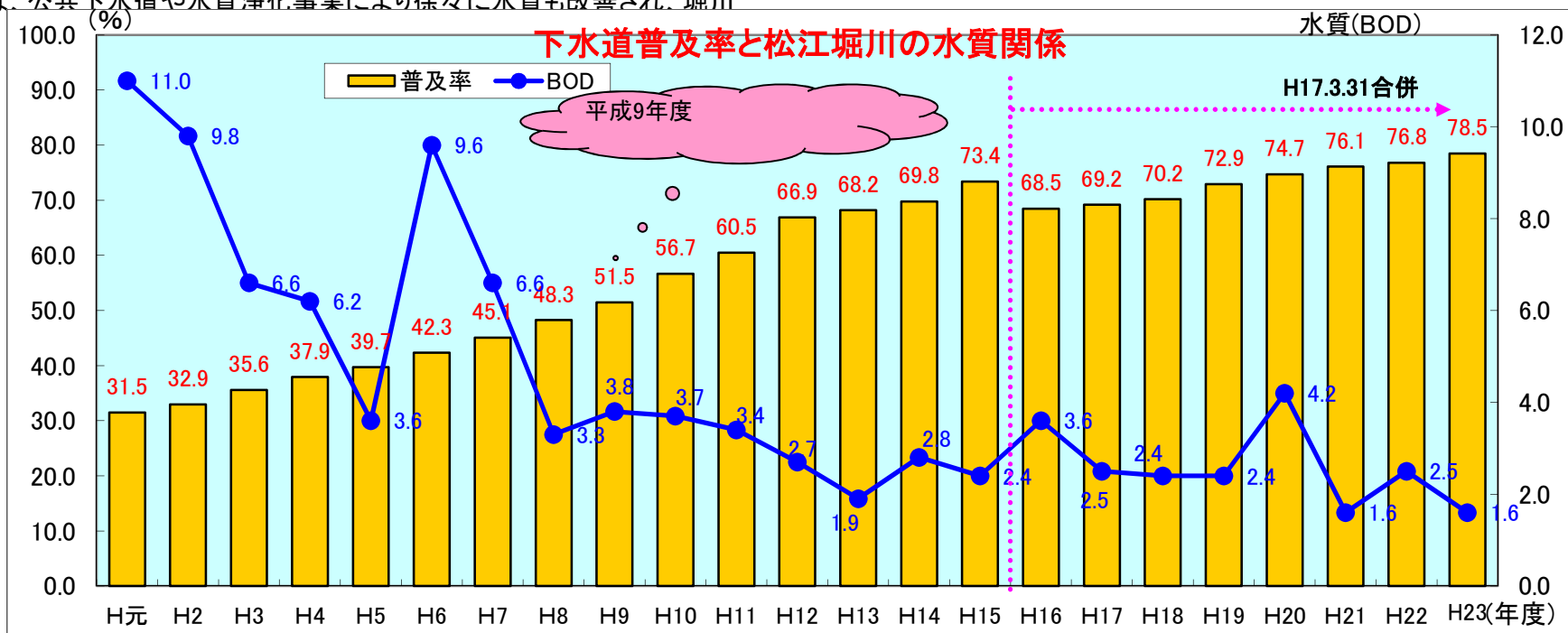
現在では、公共下水道や水質浄化事業により徐々に水質も改善され、堀川



**【昭和40年代の松江堀川】**  
生活雑排水の流入により堀川の水質が急速に悪化し、堀川流域の一部では、大きく景観が損なわれていました。



**【現在の松江堀川】**  
平成9年に堀川を巡る遊覧船の就航により、松江堀川は四季折々の美しさで観光客を楽しませています。



※平成16年度末普及率からは、合併後の行政区域の数値